明治三十一年八月十八日印刷
明治三十一年八月二十日發行

婦人衛生雜誌

第百五號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第百五號
目次

講演

●地と水の清潔に就て　醫學博士　中濱東一郎君

●精神病者の取扱に就て　醫學博士　片山國嘉君

●體育（體育會所載承前）　ゲハイメル、メヂチナールラート、プロフェッソル、ドクトル、エ、ベルツ君述　文部省學校衛生主事　醫學士　三島通良君譯述

衛生叢談

●ロイマチスムにつきて●疾病の原因につきて●凍死者の扱ひ方●眼中の異物を取る法●異物を飲みたるときの注意●「エヒノコックス」につきて●人躰に宿る絛虫●結婚につきて●躰温につきて●躰温計用法●水蛭使用法●肉食と菜食●肥豚の滋養●食養法に依る体量●赤痢病●盛夏中牛肉を貯藏する法●胃を截り去りし婦人●端座の害●水齒磨製造法

●廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第百四號
目次

講演

●呼吸換氣の注意　醫學士　丸茂文良君

●體育　ゲハイメル、メヂチナールラート、プロフェッソル、ドクトル、エ、ベルツ君述　文部省學校衛生主事　醫學士　三島通良君譯述

新潟支會講演

●身体の分限　若杉喜三郎君

衛生叢談

●區役所の衛生掛

●學校兒童發育取調

●理髮所と浴湯

●廣告數件

婦人衛生雜誌第百五號
（明治三十一年八月二十日發行）

講演

●地と水の清潔に就て

醫學博士　中濱東一郎君演說

今日私が御話申しまするのは土地及び水の清潔の事で御座います、此節は追々暑さ増加し傳染病流行の期節となりまして虎列剌其他各種の傳染病が流行しはしないかと、其筋でも御注意が有りまして、昨今東京市中では諸所で市街の掃除をして居ります誠に是れは宜いことで有りますけれども元來本邦人の住つて居りまする處は家屋は割合に清潔で御座います、清潔であると云ひました處が元より完全と云ふ事は出來ませぬけれども、又石、煉瓦で造つたる大廈高樓でなくとも普通住屋の内部は割合に清潔にて、西洋人の普通家屋に比べると却て清潔なるものが多く有ります、併し家屋の外圍は殘念ながら不潔の場所が多い、ソレ故に此比市街の掃除をして居る、けれども現今の市街の模樣では如何に清潔にしやうとするも私共が認めて充分に人の健康を保護するに足るだけの清潔にはありませぬ、是れは市街の造り方が悪るいので誠に已むを得ない譯で有ります、大雨が降れば全然東京の市中は泥濘汁粉の樣になッて、靴や草履では歩行ませぬ、下駄でも容易には歩行することが出來ない、又天氣になッて少し風でも吹いて參ると砂塵埃が立ちましてまるで我々は灰の中に住ッて居るやうな工合で有ります。東京は輦轂

地と水の淸潔に就きて

の下で殊に貴き御方々が御住ひになッて居り、其他有爲の人々が住ッて居らるゝ處故別段に此處は健康に害の無い樣に致したいと我々は考へて居ります然るに道路は斯くの如く不充分故色々ソレが爲め害を生じて來る。例之ば東京市中の水道の如きも水の源は宜いが東京に流れ込んで來ると其水は惡るくなる、就中下町の水は殊に不潔になり易いので有ります、是れと云ふのも、水道工事の不完全なるも一の原因ながら、いま一つの原因は市街が不潔の爲めで有ります、然らば何うしたならば市街を淸潔にすることが出來るかと云ひますれば其事はなか〳〵困難ながら東京のやうな處では是非とも是れはしとげなければならないと思ひますソレは道路往還をば極く緻密にして雨水等が浸み込まないやうなもので包むことであります、ソレには種々の物がありますが、普通は石を用ゐて丁度庭石のやうな平かなる石を以て東西南北の街路を敷き詰め人馬が石の上を步行馳驅する樣に致します、爾うしますると、風が吹いても塵埃が立たず雨が降つても泥濘になりませぬ、さて此石を敷き詰めまするのは淸潔の点には宜いが一方から考へまする又此石の往來を、雪駄でも穿いて步行くか或は人力車馬車荷車等が通ると、家に在つても人と對話が出來ない程喧しい、これは石路の缺典であります、けれども其儘に放拋て置くより遙に宜いことは勿論であります、石より一層宜いのは木材にて木の木口を斬りまして並べて敷きつめます、さうすると風雨にも穢れず車馬が繁く通行しても音もせず彈力があつて步行くにも愉快ながら是れは餘程費用がかゝつてなか〳〵容易に

は出來ませぬ、其外山から堀り出して採るものでアスハウズと云ふものが有る、是れは温度を加へると軟かく冷ゆると「タヽキ」の樣になります、西洋にては是れで敷き詰めた市街も御座います、是れもなか〳〵宜いもので、歩行く工合もよし塵埃も立ちませぬ、是等各種の材料のある中で、適當の材料を撰擇みて道路を造らなければ到底市街を清潔にすることが出來ませぬ、しかし此事は莫大の費用を要し急には成就しますまい。それゆへ今日の清潔法は姑息間に合せのことなれども掃除せずにあげやつて置くはけにも參りませんから止むことを得ず。出來るだけの清潔法を行つてをりますかゝる有樣にて「イクラ」注意し且つ念を入れて清潔法を行ふも不充分なることは免れません、殊に最も恐ろしいのは前にも述べたる水の不潔で有ります、兼ねて私は水の試驗をしたことが御座います御承知の通り東京へは二ヶ所から水が來て居る一は神田上水（水源は井ノ頭の池）一は玉川上水（水源玉川）此二ヶ所の水が東京に這入りまするよつて其水源と東京の入口と市内各所とに於て水質の試驗をすると水源にては水質純良にて飲用水とするに適し又東京への入口に於ても不良の水で有りませんが市内に入り次第に市中の地下に流るゝに從ひ水質段々不良となり神田、京橋、日本橋芝の各地に往くと殆ど飲料にはならぬ程になりますこれ水道構造の惡しきにも因ると雖も市街の不潔も又一ツの原因で有りませう、今日の處では堀井戸の良き水を用ゐるものは別として、神田上水、玉川上水を專ら飲むものはいくら漉しましても充分に安心される程水を清潔に致すことは出來

地と水の清潔に就きて

ませぬソレ故に今日では生水は飲めないと云はなければありませぬ、しかし水質不良なればとて之を飲まずに居る譯には參りませぬからどうしたら一番宜いかと云ふに、水を其まゝ飲ます一遍は必ず沸騰て、湯冷にしたるもの又は沸騰て、少し冷却したるものを飲まば危險を避くることが出來ます、是れは極く容易いことで、誰れにでも出來るのであります併ながら實際是れを毎日行うのは餘はむづかしい殊に下々の者に至るとなか〳〵油斷がありませんで、一度煮沸ッた水は不味であるとか或は臭ひが附いたとか、申して之を嫌ゐ或は命令を守りませんで、竊かに生水の冷かなるを飲むとか云ふことで、隨分厳しく申しましてもとかく行はれないので有ります、ソレ故輙いことながら餘程注意をしませんとこれが爲めに容易ならぬことを惹起します此頃すでにポツ〳〵と虎剌列患者赤痢患者等が出まして、追々に今年は蔓延しはせんかと心配をして居る、デ今日の處では東京の水が惡るいので有りますが改良上水の出來るまでは已むことを得ませぬから、決してくみ立ての水を召上がりませんで、必ず煮沸つた水でなければ口に入れぬやうにいたしたならば種々の傳染病を防ぐことは輙いことゝ思ひます是事は度々雜誌や演説にて人も吾れも注意をいたし、皆樣も御聞き厭きなさるゝ程でありますが之を實行するのは至つて困難なことであります其ゆへ此事は下婢下男等に嚴重に御申し渡しなさるのが必要と考へますなか〳〵一度や二度申しましても容易に事が行はれませぬから何卒幾重にも御監督に相成りまして虎列剌等の惡疫の流行を見ぬやうに渇望いたし

ます。

◉精神病者の取扱に就て（講話大意）

醫學博士　片山國嘉君演説

諺に健康は幸福の母なりと申すことがありますが誠に其通りでありまして如何に富めるも貴きも健康に缺くる所ありては其甲斐はありません、貧賤でも健全なる者は富貴で多病の者よりは寧ろ幸福であります、眞に健康は幸福の母でありまして疾病は之に反して不幸の源であります、小にしては個人の不幸、又一家の不幸、大にして國家の不幸でありまして世の中に病疾程恐ろしきものはありません。

却說其疾病には種々ありますが之を大別すれば身体の疾病と精神の疾病との二つになります、今日は精神病者の取扱の事に就て少々お話致そうと思ひます。

何病でも不幸に相違はありませぬが精神病は不幸中の最も不幸なる疾病であります、先づ少しく其次第を述べませう、身体に疾病あるも精神に異常がなければ、よし、身体の自由は叶はずとも自ら良醫を撰みて之に思ふ存分の治療をして貰ふにも出來、愈々不治と極まッた所で遺言も出來、財産の世話も出來妻子が親切に看病して呉れば之れに由りて幾分か患者の心を慰むることも出來る事が多ひ精神病者にありては左様な譯には行き兼ぬることが多ひ其のみならず、親孝行の評判息子も精神病の爺父には親殺しだの不孝ものだのと大惡人の様に思はるゝこともあります、操正しき女房も

精神病者取扱に就て

頓だ疑を受くることもあります、又巨萬の富も心の狂ひによりて馬鹿氣た商法に大損をなし一朝にして一文無となる人もあります又悲しくも無きことを深く憂へていたく心を悩め終には自殺を企ッることもあり怒るべからざるにいたく怒り、恨むべからざるに深く人を恨み、終には人を傷け甚しきは人殺をすることなどもあります此等は皆精神病の仕業でありまして本心にてすることではありません、全く是非の辨別が附かぬからのことでありますれば實に精神患者程可哀想なものはありませぬ、精神病者は此の如く可哀想で而かも危險な病人でありまするが故に其取扱には他の病者に對するよりも一層傍人の注意が肝要であります精神病の取扱と申しましても時と場合とによりて幾分の取捨を要することは勿論でありまして其を一々云ひ盡すことは到底出來ませぬ今日は唯其一斑を述べます

(一)先づ第一は精神病者を極く可哀想な病人として取扱ふことであります之を氣狂と思ふて何を云ふても取合はず無理を云へば叱り付くるなどは甚だ宜しくありませぬ無理は病氣が云はすのでありまして本心で申すのではありませぬから程善く答へて置くが能いので御座ひます、又精神病者の云ふ事とて間違た事や無理許ではありませぬ眞實の事も澤山ありますれば之れは能く聽き分けてやらねばなりませぬ、氣狂と思ふと傍人の取扱が兎角薄情に成り勝の樣に見ゆることがまゝありますが之は甚だ宜しくありませぬ必ず慈悲の心を以て親切に病人の取扱をしてやるのが肝要であります

(二)次は精神病者は必ず不治と思ふて醫療を等閑

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にせぬことであります精神病は醫療を何程致しても治し難きものが澤山あるには相違ありませぬ乍併其初めに當りて時期を誤らず早く良醫の治療を受くれば治癒するものも亦少くはありませぬ鬱憂狂の如きは手後れさへしなければ十中の九までは治します其外にも段々治るものがあります。然るに不治のものが多ひとて又治すべきものもあるのみ醫療を等閑にして治すべきものをも不治に陷らしむるのは傍人の不親切と云はねばなりません。此の如きは眞實慈悲心ある親や子の仕業ではありませぬ、若し不幸にして精神病者あらば宜しく速に良醫の治療を受くるが肝要であります

(三)次は看病の事であります看病人は能く醫士の命令を遵奉して慢に自説を喋々せず命令通りに患者を親切に取扱ひ無理を云はれても柳に受くるが肝要であります何病の看病にも看病人の腹立ち易いは宜しくありません　殊に精神病には大禁物であります、又多辯の者も宜しくありません、殊に憂ひ悲む心の切なる患者に對し醫士の命令をも俟たずして慢に花見、遊山の樂みや、芝居見物の話等を致すものもありますが之等は益の無きのみならず却て害となることも往々あります、又妄想を有する患者に對し辨舌を揮ひて其妄想を說き破らんとするものがありますが之れも宜しくないことが多ひ、又食物に毒ありと疑ふて絕食する患者もありますが此の如き患者に無暗と食物を勸め口中に押込む等も宜しくありません、唯毒味をして見せて其れで猶は食せぬ時は其儘枕元に置くが宜しい空腹になると大抵の患者は之に手を出します勸めると却て疑を增すから宜しくないのであり

ます、又精神病者のなすことには感心することとは少くして笑止な事が多ひから笑はずには居られぬ事もありますが成丈は慎むべき事であります、笑止な事も皆病氣がする業でありまして本心からする冗談ではありませぬから笑ふどころではない實に可哀想なもの氣の毒千萬の者と思はねばなりませぬ、併し如何に取扱へば宜しひか此邊の加減は仲々六ヶ敷くありますから其は一々醫士の指圖を受けてするのが肝要であります、一番善いのは本職の看病人を頼むのであります矢張餅は餅屋で無くてはいけません、

(四)次は食物の事であります食物は滋養物でさへあれば何でも宜しい唯唐辛の如き辛きもの又不消化のものは避けるが善い其外は牛でも豚でも魚でも何でも宜しい滋養分の澤山あるものを充分に與へるが善のであります、精神病者は甚だ精神を勞し又身体をも勞すること甚しきもの多ければ滋養が不足すると速に衰弱を來し易い衰弱をすると躁がしい患者も靜かになるが之は善く成たのでは無く却て惡く成たのでありますから此際に油斷をすると速に死に至ります。個樣な事が往々ありまするが故に精神病者の食物には能々氣を付けて滋養物を充分にやらなくてはいけませぬ、さな無いと醫者の治療は何程善くとも其成蹟の揚る氣遣はありませぬ、兎に角傍人の大に注意すべき所であります

(五)次は必要の場合には患者を適當の病院へ入れることであります、其入院を必要とする場合は種々とありますが其主なるものは自殺の恐ある時、他人に對して暴行の恐ある時自宅治療の六ヶ敷時

本集成に収録するに当たって、底本とした雑誌が九頁から一六頁まで乱丁であったため白ページとし省きました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

以て二十分時間皮膚を摩擦し以て醫士の來るを待つべし室内を温め又は温浴に入るゝが如きは人を救ふに似て反て人を死に致すものあり

●眼中の異物を取る法

眼中に異物たとへば塵石炭の粉末、小虫等入るときは多く上眼瞼の裏面に附着しをるものあり故に上眼瞼の睫毛發生しをる部分をつまみ下方に引下ぐべし然る時は異物は自ら下眼瞼の表面に顯れ來るべし故に布片を以て容易く取り去り得べし此法にて取り去り得ざるときには上眼瞼をつまみ眼球より引きはなし清潔なる水を以て洗ふべし

●異物を飲みたるときの注意

誤つて又は故意に大なる果物の核或は帽針の如きものを飲むとあり此時非醫師的の考にて下劑を服用するとあり之大なる誤にして反て野菜芋類等を多量に食用する時は異物は大便に包まれて腸を傷つくるとなく体外へ出で去るものあり

●「エヒノコックス」につきて

犬の腸内には一種の絛虫棲息すると多し之を狗絛虫と云ふ此絛虫は犬の腸内にて卵を産む故に斯如き犬の糞便中には數多の卵を見るべし、此狗絛虫卵は人躰に入れば發育して「エヒノコックス」と云へる絛虫の尤も幼稚なる物となる以て眼中、腦又は脊髓殊に肝臟に宿り恐るべき疾病を起すものなり故に犬を飼養する人は注意すべきとあり、犬は口を以て肛門に接し得るもの故犬の糞便に觸れざるも犬と起居を同くし甚だしきに至りては之を愛するの余口唇を以て狗の身躰に觸れ又は之と接吻するが如き人は此疾病に罹ると多し誠に愼むべきとあり

◎人躰に宿る絛虫

人の腸内には種々雜多の寄生虫即人体の腸内にある物質を食物として生存する物あり其内最も大なるものは絛虫と云ひ其形は「サナダヒモ」に類し長さは二尺以上五尺に及ぶものなり此絛虫腸内に寄食するときは下痢腹痛又は嘔吐をなすものなり鱒を産ずる地方即利根川附近北海道越前越中等には此病人甚だ多しと云ふ幼稚なる絛虫は鱒の肉中に生存す故に鱒肉を食するときは此若き絛虫人躰に入り大いに發育して長さ五尺に達する絛虫となるなり理學博士飯島先生は試験の爲め鱒肉を食されしに果して腸内に絛虫を生じたりと云ふ、鹽漬又は氷詰にしたる鱒よりも傳播することありと云ふ然れども充分に炙り又は煮たる鱒肉は少も恐るゝに足らざるなり

◎結婚につきて

身躰及び精神の發育充分ならざる人の結婚は多く其夫妻の發育を防げ又虚弱なる子孫を殘すものなり婦人は月花開きたるを以て直に結婚の期至れりとなすべからず月花開きたる后満を年に過ぎざれば發育充分ならざるものなり故に法律上にても男子二十才以上女十六才以上ならざれば結婚を許さゞるなり、血縁近き者の結婚は衛生上子孫の爲宜しからざる者なり何故に害ありやと云ふに只遺傳性を重ぬるが故なり即肺病の遺傳を有する男女間に生じたる子孫は愈々肺病に罹り易き性質を増すものなり故に夫妻共其身躰健全にして遺傳を有せざるときは近親結婚なりと雖其子孫は又健康にて欠くることなかるべき理なり然れども實際或人の計算によれば五百十二の近親結婚者中健全なる子

孫を有するは只百三人にて殘余五分の四は子孫を有せず又幸に之あるも虚弱、癲癇、痴鈍等なりと云ふ近親結婚は衛生上不適當のものなり

又殊に恐るべきは判然たる疾病に罹りをる者の結婚なりとす即肺病患者梅毒患者の如き之なり之等は夫妻の間に病毒を相傳へ通常子孫を得ることなく幸に受孕するも多く早產又は流產をなすものなり

又婦人の骨盤の形尋常ならずして娩產し能はざること明なる者と結婚するが如きは誠に無謀の結婚にして若不幸にして婦人受孕するときは遂に婦人をして死に至らしむことあるなり

●躰温につきて

人の躰温は呼吸血液の循環、四股、筋肉の運動により躰内に化學的の變化を生ずるによるものにして恰も「ランプ」に火を點すれば光輝を放つのみならず又温熱を生ずるが如し健康なる人の躰温は、春夏秋冬常に同一にし攝氏の三十六度五分以上三十七度五分の間にて朝は低く午后五時頃を以て最も高しとなす然れども前記の温度を越ゆることなし故に北海道の極北に住する人も臺灣の南端に在る人も其躰温は決して差異あることなし之人躰は誠に不可思議なる器械にして北海道の如き外氣寒冷なる處に在りては躰内の化學的作用盛にして多くの熱を發生し却て臺灣の如き熱帶に近き地方にては之を發生すること少なきを以てなり

●躰温計用法

躰温計は一種の寒暖計にて疾病の判断又は經過を知るに欠くべからざるものなり診斷上に用ゆる者は「マキシマム寒暖計」にて大抵攝氏の三十三度以

上四十二度迄の間の体温を測り得るものなり「マキシマム寒暖計」とは水銀柱の一部分他の水銀槽と連なる部分と離れをる者にて今或患者の躰温を測らんが爲之を腋窩に入れをくときは暫時にして水銀槽内に在る水銀膨脹し水銀柱は上りて四十度を示すとなす今躰温計を患者の腋窩より出し冷處に放置しをくときは槽内に在る水銀は收縮するも水銀柱の一部分は四十度の度に止まる故に患者の腋窩内に在る間に温度を讀むが如き不便なきものなり、一度用ひたる「マキシマム体温計」は其温度を讀みたる后水銀の有る端を下となし兩三度振り上部に止りをる一部分の水銀柱を三十七度以下迄下げをくべし、又体温計は何れも精密なるものにはあらず或寒暖計にて測れば四十度なるに他の寒暖計にて測れば三十九度あるが如きとあり故に寒暖計は最も精密なるを撰むべし近來体温計の正不正を撿し加減の度を記したる紙片を附したる者あり之大に便利なるものなり寒暖計の用法は種々あれとも通常腋窩又は肛門内にて測るを宜しとす腋窩にて測からんとせば先づ腋下を拭ひ然る後寒暖計を腋窩に入れ腕を胸に引きつけをくべし此際寒暖計の水銀を盛りたる端後方へ露出せざる樣注意すべし斯くの如くして十五分の后其温度を讀み其度數と其時間を記載しおくべし、肛門内にて測るには先つ灌腸をなし肛門内に在る便を去り躰温計に油を塗り一寸斗り肛門内へ入るをくべし時間は五分にて足れりとなす

●脚氣につきて

光陰は矢の如く冬去り春過ぎて今旣に夏盛んなり夏期に於ける流行病又は地方病は數多あり「コレ

ラ」急性腸加答兒赤痢「マラリヤ」脚氣の如き之なり、脚氣は其原因如何なる者なりや種々の說ありと雖未だ定論なし故に又一定の法方を以て之を豫防し此病苦を免れしむるの攝生法あるあり然れども充分意を衛生上に注ぎ心を專らにして躰內の諸臟器の作用を防げ害するとなければたとへ脚氣病に罹るとあるも重症に到らずして治癒すべきものあり殊に注意を要するは消化器にあり不消化物たとへば未熟なる果實多量の野菜或は氷水の如き者を飲食すれば腸胃の消化作用を防げ食慾少なく胃部の疼痛脹滿、腰氣、下痢又は便祕等をなすものなり斯の如き病症に罹りたるときには又自ら脚氣にも罹り易きものあり又脚氣は土地と關係を有するものなり故に東京に於て年々脚氣に罹る人は夏期に至れば宜しく高燥の地にて空氣精良にして朝暮冷氣ある地方に轉居すべし之尤も適當なる豫防法なりとす

一旦脚氣に犯されたるときは直に醫士の診斷を乞ひ病疾の摸樣を診定せしめ醫士の忠告に從ひ或は轉地又は服藥安臥等をなすべし脚氣の浮腫「シビレ」運動意の如くならざるが如きは恐るゝに足らざるも此病毒は易く心臟を犯し直に死を致すとあり之を衝心と云ふなり之を以て輕症なる脚氣と雖又輕んずべからず余の一友連年脚氣に罹るの傾あり今を去ると七八年なりしが又此病に犯さる疾候甚だ重からず故に病臥するに到らず只安靜を守りしと二三週にして病勢大に退きたり故に歸省の途に登らんと欲し暑中炎天を犯し徒歩して二十町斗り距りたる醫士に到り歸國のとを談す醫許さずして尙改週の安靜を命ず歸途又步して歸れり忽に

して病勢大に加り將に衝心せんとす余は同氏の令兄と共夜を徹して看病のことに從事し電信を以て同氏の嚴君の上京を促すに至れり然れとも幸にして命を致すに到らざりしことあり又大學病院に一重症脚氣患者あり數日來の症狀快方に向ひたりしに一日寢臺の上に坐し窓外を見んと欲し誤つて寢臺より轉落し遂に衝心して死亡せしことあり斯の如きは最も不幸なる患者なりと雖又脚氣病の一歩を誤れば死を致すことあるを知るに足れり脚氣患者の攝生は消化を害はざることを注意し多量の牛乳を用ひ便通を宜しくし務めて安靜を守り出來得べくは病床に安臥し身躰及び精神の感動を避け重症に至りては談話をも嚴禁せざるべからず入湯の如きは健康なる者と雖心臟の機能を高むるものなり故に脚氣患者には最も意を用ゆべき者にて入浴時間を短かくし心皷動高まるときは直に浴湯を出で安靜を守るべし

◉水蛭使用法

水蛭は病氣治療上に用ゆること多きものにして醫士又は看病婦にあらざる人と雖も知るを要するものなり動物學上水蛭と稱しより血液を吸收する者種々ありと雖通常醫士の用ゆる水蛭は日本藥局法にて一定せられたるものあり此種類の水蛭は多く水田に生活する尤も通常のものにして色は黃綠色にて上面は濃く下面は即腹の側は其色薄く又上面には五本の縱線を有するものなり水田より採集したる者は暫く清水中に貯へ然る后使用すべし然らざれば創口より化膿することあり又一回使用したる水蛭は再び用に堪えざるものなり、水蛭を皮膚に附着せしむるには先づ毛髮を剃りよく洗滌し然

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る后砂糖水又は牛乳を塗り又別に一枚の日本紙をとり其中央に水蛭を附着せしめんと思ふ丈の大さの孔を作り此紙を先きに砂糖水を塗りたる皮膚の上に置き然る後水蛭をとり紙の切り抜たる處より皮膚の露出す處に置くときは直に吸着するものなり充分に血液を吸収したる水蛭は自ら離れ落つるものあり然れとも未だ充分吸収せざる水蛭を取り除かんと欲せば食塩又は酸を灌ぐべし決して暴力を用ゆべからず、水蛭を取り去りたる后放血未だ不充分あるときは微温湯を以て時々創口を洗ふべし然ときは尚多少出血をなし充分水蛭使用の功力を顯すものなり又出血容易に靜止せざるときは消毒したる綿又は布片を置き其上より壓迫すべし又或は明礬或はアラビヤゴムの如きを散布するも宜し凡て耳鼻肛門膣等の近傍に水蛭を附着せしむるときは耳孔鼻孔等へ水蛭の入らざる樣心を用ゆべし若し水蛭匍匐して孔内に入りたるときは食鹽水を以て洗滌すべし然るときは水蛭は直に死して容易く取り去り得るものなり

●肉食と菜食

肉食者と菜食者との心臓の作用を精査するときは菜食者の脈搏は一分時間に凡五十八回にして肉食者の脈搏力は凡七十二回なりされば一分時間に十六回の差ありて一時間には二萬回の差を生ずるに至るべし故に菜食者にありては夏季に於ては暑熱を感ずること肉食者の如く甚だしからずといへとも冬季に於ては恰かも反對の影響を被らざるを得ず夫の菜食者の寧ろ夏季に健康にして肉食者の寧ろ冬季に强壯あるは全く搏力の多少に因るものありといふ

●肥豚の滋養

凡そ食物は含炭素性分六乃至六半と含窒素性分一との割合を要せさるべからず實に此等の割合に對してはロース氏及びギルベルト氏の試驗に於て肥たる豚肉の能く其量に一致せることを發見せり乳汁に於ては含窒素物の量大に超過して三、六と一との割合に居る而して小兒の營養に乳汁を必須ありとする所以は其身体發育の速かにして且盛なるが爲に含窒素物の多量を要するか故に大人と異にして右の割合は實に幼兒に於て正當の對稱なること亦疑を容るべからず又肥豚の炭素と窒素との割合を云ふ時は炭素十九分と窒素一分との割合なり乳汁に於ては大約十三と一との比例に當る麵包に於ては炭素の量殆んと之れに陪して炭素二十三分と窒素一との比例にあり又牛肉類は十と一との比例に居る故に甲には成形物の添加乙には燃燒物の添加を要せさるへからさる理由ありとす

此の如く食物の性分は每品其割合を同ふせさるものなれは調理の際適宜に其添加物を吟味して吝嗇せさるを要すへし故に今ドクトル、エドワルド、スミス氏の定むる適宜なる割合を揭示すへし男子の食物は安佚なる時に於けるも其日々要すへき量は窒素の二百氏と炭素の四千三百氏とにして婦人の食物は窒素の百八十八氏と炭素の三千九百氏とより少なからさる性分を保たさるへからず但し此割合は飢餓して病を發するに至らさる迄の量なりと云ふ而して此男子の食物は含窒素食物の二写九七と含炭素食物の二十二写に當るものあり

男子日々の食物に於て要する窒素の二百氏即ち成形質の二写九七を得へき食物表左の如し

食物名	瓦量	澱粉として算したる含炭素物 瓦量	含有の炭素 瓦量
スキームチース	六、六	〇、八九	七七八
白肉魚	一六、四	一、一九	八三六
瘠肉	一五、六	一、七八	九九一
スキームミルク	七四、二	七、四三	二、〇四九
豌豆	一二、二	八、〇三	二、一六四
生乳	七二、四	一〇、六九	二、六八三
燕麥	三三、六	一八、四一	四、一八四
小麥粉	二七、五	二六、七九	四、六四七
玉蜀黍粉	二六、八	三三、八四	五、〇四六
裸麥粉	三七、一	二九、二	六、二六五
大麥粉	四七、一	三八、〇三	七、九九七
米	四七、一	三八、三一	八、〇五三
塩藏豚肉	三一、七	六一、七八	三、六一七

（スキームチース〜燕麥）炭素不足の分　（小麥粉〜塩藏豚肉）炭素過度の分

右の表中前の七種は含炭素物不足（二十二瓦を要す）にして後の六種は過度なるものとす凡そ食物諸種の性分は本編掲くる所の各表に於て明示するか如くなれは炭窒二素の分量を適宜に參酌給用すると甚だ難きにあらさるへし

●食養法に依る体量

食物の用法によりて專ら筋組織を成育して力量を強くし或は身體の肥滿を欲して脂肪を増す等其所企する所の目的に隨て之をなし得へき方法あり即ち含窒素物を主用して粉質及ひ脂肪質の食物を少くし且液體の飲料は可及的之を減少するときは筋組織大に發育して水分及ひ脂肪の位置に代り尚其筋肉を運動するときは筋組織を強靭にして力量を増加し而して組織中の水分を減するものあり今其一例を擧れは曾て歐州に人あり其人の食餌朝食

に瘠羊の炙肉二と乾燥せる麵包或は再ひ燒きたる麵包の稍同量と砂糖を加へさる茶一碗午膳には牛肉或は羊肉の一磅或は一磅と四分一及ひ乾きたる麵包二片及ひ極少量の馬鈴薯或は他の植物並に麥酒の半巴或は設里の一二杯砂糖を加へさる茶一碗乾きたる蒸餠の少許晩餐には燕麥の「ボルリッヂ」(肉と共に煮たる汁)半巴或は麥酒半巴を定食として其目的を達せしとあり然れとも此の如き所爲は只一旦其目的を達し得るに止まるのみにして決して永久持續し得べきものにあらす何となれば此の如き食餌の用法は强て之を持久すれは必す身躰營養の不十分且偏頗なるにより病を生し直ちに通常の食餌に復せさるべからさる場合に至るを以てなり

脂肪を發育するの目的に向ては第一肉の脂肪「ボートル」、「クリーム」等の脂肪物を用ふるにあり而して砂糖及ひ蜂蜜幷に甘味ある菓物、亞米利加防風等の如き諸種甘味を有する食物之に次き矢根澱粉、麵包、馬鈴薯、蕃薯、南瓜、團餠、粉質物の腸詰、等之に次く又發酵したる液類中の麥酒及ひ濃厚麥酒等は大に脂肪發育の名譽を有するものなれは以上の飲食物類を主用するときは其脂肪を增加すること疑を容れさるへし而して右の液類は啻其脂肪を造生するのみならす乳兒ある婦人に於て麥酒を用ふるときは大に其乳量を增泌するの功あるものとす故に甚たしく肥滿したる者は可成的以上の食物を避けさるべからす假令ひ之を用ふるも極めて少量ならさるべからす澱粉の脂肪を發育するは諸家の實驗と學說とにより明了なりと雖とも今リ———ビク氏の試驗說を擧示せん其法は重量四

磅なる最も瘠たる鵞鳥を取り玉蜀黍のみを以て飼養すること三十六日間なりしに其鵞鳥著しく肥大して五磅の重量とあり而して其重量の三磅半は脂肪ありしと云ふ是れ粉質物の速に脂肪を發育するの明証となすに足る又土耳其の東方諸國の風俗に於ては婦女子の妍を競ひ美を誇るは専ら身體肥滿して圓軟なるにあり而して時ありては前記と同法を以て其肥滿を企つるものありツーケル氏の說話に該國帝の宮中に於て女官皆其容貌を美にせん爲めに蜂密と土耳其澱粉を以て製したる食物を用ひ且之を助くるに脂肪に富みたる羹汁を以て肛門より灌腸すると十五日間にて大抵其實効を得ると云ふ

◉赤痢病

本年は流行病未だ猖獗に至らさるも既に豊多摩郡附近大に流行を來し府下にては山の手邊にポツポツ赤痢流行するに至る今にして之れが豫防に注意し撲滅するにあらざれは秋季に至り大流行を來すや知るべからず今赤痢に關する緊要の事項を記錄すると左の如し

○發生の時期　晩夏初秋の候土地の濕ひて且不潔にして有機物の分解の多く行はるゝ時期に多く發生す

○原因　一種の桿狀黴菌即ち「バチルス」にして其誘因となるべきものは各自飲食物の不攝生にありて消化器を害するときは非常に侵入し易し

○傳染の媒介　赤痢「バチルス」の大さは實に微細なるものにして恰も我々の頭の毛一本の切り口に縱にならべて三四百位並ぶ程のものにして一匹の蠅蚊等の足には何千何万と云ふ多數が附着するて

とを得べし又便所の空氣の水滴中にありて肛門より傳染することあるべく患者の衣服排泄物等は勿論看護者の手、牛乳、古着、襤褸、諸飲食物飲料水交通の頻繁等により傳染す

○蔓延の豫防　蔓延するとを豫防するには患者の糞便及糞便に汚されたる物品を確實に消毒するにあり

○消毒法　燒き棄る法、蒸氣消毒、煮沸消毒、藥物消毒、等ありと云へとも不充分の消毒は寧ろ消毒せざるに勝る普通行はるゝは藥物消毒なるも只石灰の粉を掛くるより成べく石灰乳（十倍の水に解す）として用ゐるをよしとす消毒法現今の規則には石炭酸二十倍にして之に鹽酸あり稀鹽酸を加ふることとなれとも確實に消毒するには五十倍の石炭酸中に永く漬け置かざるべからず又昇汞は五百倍となし之に食鹽あり鹽酸を加ふべし其他熱氣消毒は百度以上の熱に逹したるとき少くも十分時以上を經されば決して安心することを得ず

○赤痢の症狀　赤痢は病菌の身体中に入りてより潜伏期とて三日乃至八日潜伏するものにて別に健康者と殊なるとなし其初め時々腹が痛むとか鳴るとか食物が進まぬとか下痢を起し若しくは秘決したり不規則になる而して赤痢に尤も重きを置くは下痢にして普通の下痢と異なりて一回に排泄する量少なくして厠に上ることも頻繁となり輕きは一日數回通常二三十回尚多きは五十回百回以上の者あり此症狀を唱へて裏急後重と申します其便は初め輕きときは普通黄色の便中に粘液加はり後には殆んと白色粘液性とあり又は粘液性に血液を混じ來り若くは血便に粘液の這入りたる此二つは主

に赤痢に特異なる症狀ありとす故に赤痢の患者は醫者の器械なくも其糞便を見れは赤痢なることを知るは容易なりとす

快復と死亡　此症は轉るときは早く治癒すべきも長きときは四周間以上に渉ることあり多くの統計によるに死亡數は百分の七乃至十にして九十人以上は癒るへきなるか日本にては二五プロセントにして百人に付二十五人の死亡數に當り死亡數は割合に多し之によりて實際は隱蔽者の多きことを知るへし西洋の赤痢の日本より輕きと云ふ筈もなき事なり

●盛夏中牛肉を貯藏する法

近着の「ナショナル、ドラジスト」に曰く盛夏の時に於て牛肉を永く貯藏せんとせば左の法に依るべしと先づ肉片を釜中に投じ其褐色に變ずるに至るまで之れを熱煮するときは表面の蛋白質凝結して他物の侵入を防ぐに足るべし而して之を瓶の類に移して溶解せる豚脂を注ぐべし但其器は寧ろ大なるものを選み肉片の器中に在て破壞せざらんことに注意し豚脂の量を充分に之れを浸すに足らしむべし此豚脂は數回此目的に向て使用せられ肉片は必要に應じて表面より時々或る分量を取り出し喫するを得べし此方法は殺菌の効を有するが故に防腐の効を有すること大なり云々

●胃を截り去りし婦人

米國ズーリッチ大學教授ドクトルカール、スクラッター氏は一婦人の胃を截り去り三ヶ月間治療を加へたるに婦人は全快し現時は健康人に異ることなしと云ふ

此婦人は當時五十六歲にしてアンナと名けられ絹

布機織業を以て其職とせり幼年の頃より腹部に疾患ありとて種々治療を加へしも其効を奏せす曾てカールスクラッター氏に診を乞ひしに氏は診査中腹部に一種の瘤の存するを認め尚ほ精細に診査せしに他の諸部は全く健全なるも胃は大患に罹り居りて到底救済の見込なきを知り此不用の胃を他所に移すの可なるを思ひ遂に食道と腸とを結び付け結局咽喉より直接腹部に一條の管を通ずることゝなし胃の存在すへき場所に腸の端を顕はせりと斯くして腹部の病症は速に治癒し施術後三日間は灌腸の手段に依りて食餌を輸送せしも之れを癈して口より食するを得ることゝ爲り尚數日を經て鷄卵を喫し且細切したる牛肉を食し鷄肉をも味ふを得るに至れり然れども其過食したるが爲め嘔吐を爲したることもありしと「サイエンチフイック、アメリカン」記者は云ふ下等動物は一部の身体を截り棄つるも尚ほ他を以て之を補ふか故に死に至ることなし然れども人体に至つては大に然らず或る要用なる機能を掌れるところの一部を失ふ時は忽ち其命を喪ふことと古來人の信ずるところなり然るに今回カール、スクラッター氏の經驗は右の信用をして全く失墜せしめ胃部の如き重要の機關を失ふも他の機關即ち腸をして其機能を代辨せしむるを得るの經驗を世に紹介したり是れ誠に醫學上の一進歩なりと（二件私立衛生會雜誌）

◎端座の害

識者あり端座即ち膝を折りて座する害を論ず曰く上古の日本人は筒袖筒袴を着して藁の上に胡座したるものあり中古高麗より疊席を輸入し唐より寛服を輸入して同じく胡座したりしが近古疊なる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もの起り庶民をして其常服たる直垂（六百年前の頃）の下を廢し其上を長くして現今の着物を造りたるより遂にワスル制起れり、（袴を着して胡座するは可なれども袴なくしては下肢を顯出するより胡座する能はざるなり）と因りて胡座の害ある證を擧ぐ（一）脚氣は日本の地方病あり而して脚氣は胡座制の最も嚴しく行はるゝ都會の地に多し（二）腰の甚しく屈める老人日本に最も多し（三）日本人の脚は世界各民族に比して最も短し（但エスキモーを除く）（四）日本人の脚は世界諸民族の脚に比して最も屈れり（アソリカの黒奴中一部分除く）（五）日本人の脚は世界諸民族の脚に比して最も細し……此問題遽に斷定する能はざれども日本民族は往時軀幹長大なりしこと事實にして今日矮小なるは何等か生理に害ある習慣あるに由るものあつて存するなるべきか

◉水齒磨製造法

衛生學の進歩につれ細粉なる齒磨粉の齒の色度を磨減し大患を起すを悟り近來坊間に行はるゝ水齒磨の流行を見るに至れり依て左に其製造法を掲ぐ

一硼酸　二〇、〇　一重曹　二〇、〇〇

一鹽酸聖古尼涅　一、〇　一薄荷精　適宜

一薔薇水　一〇〇、〇

（製造手順）先づ薔薇水一〇〇、〇（二十六匁）を「コルベン」若くは土鍋の中に注入し微温を與へ硼酸二〇、〇（五匁二分）を投じ攪拌しつゝ全く溶解するを待ち鹽酸聖古尼涅、重曹、薄荷精を順次に投じ密栓し貯ふべし看色せんと欲せばコーセニール丁幾を注ぐべし

（用法）毎朝「コップ」一杯の水に十滴若くは滴らし含嗽すべし其効能は防腐制酸解熱爽味の効あるなり

廣告

●入會者

●沖野栁子の紹介に依り
山形縣山形市旅籠町新築字寒河江町第壹號　岩崎こゝ子
山形縣山形市旅籠町六百三十番地　北川さだ子

●西川かめ子の紹介に依り
北海道札幌區南二條西六丁目十四番地　根岸八重子
北海道札幌區大通西三丁目十番地　木田たつ子

●豐島きよ子の紹介に依り
本郷區森川町五十番地　秋山昐子

●萩原たけ子の紹介に依り
四ッ谷區本村町三十二番地　本間いく子
日本赤十字社病院內　石川せう子

●小林延之助氏の紹介に依り
淺草區猿若町一丁目三十七番地
特別會員　岩田晴子

●小泉りう子の紹介に依り
橫濱十全病院內　湯淺正代子

●鎌形さく子の紹介に依り
本郷第一醫院　佐藤てる子
仝　澁谷倭子

●堀たか子の紹介に依り
本郷第一醫院　廣澤はる子

●加藤常子の紹介に依り
小石川區上富坂町廿三番地
特別會員　猪狩たか子

●移轉者

本所區綠町三丁目四十七番地へ　津田かめ子
青山南町二丁目四十七番地へ　志岐ひさ子
京都市烏丸通上長者町北へ　佐伯理一郎君
筑前國鞍手郡東方町字新町百二十八番地へ　佐藤壽美子
山形縣西村山郡西里村へ　常世千代子

○正誤

前號雜誌新潟支會講師若杉喜三郎君講演中二十二ページ第二段第六行に於ける三十キログラムから四十キログラム云々とあるは三百キログラムから四百キログラムの誤り

大日本婦人衛生會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本所之主義

酷烈猛悪なる傳染病毒素に對しフオルムアルテヒート瓦斯の毒消
力愈々強大なるは已に世の知了する處なり本所消毒すみ
の品物は變色せす變質せす被消毒品安全を保證す

○

貴重品の消毒方法は他に一もあるとなし

○

ころばぬ先きの杖春夏秋冬を問はす傳染病の有無に拘はらす
消毒の必要あり万本所未發的豫防法にて極力重きを置く

○

消毒物目録

殿堂樓閣家屋寶藏寶庫劇場穀藏酒藏
毛布毛皮羅紗書畫卷軸其他

○

總毛織物 ○ 紛卷軸類 ○ 總紙類品

用心豫備

内地雜居

室内消毒を行ふへき要件

たとへ傳染病に非るも病人ある家は消毒を施す大必要
産前産後新居轉宅傳室病前病後郵便金子
不幸ありし屋室は勿論大必要
俗にゆかんの前も猶は大必要

所内別に田原式消毒燈販賣所を置く

衛生摸範最新式

私立東京瓦斯消毒所

淺草區松葉町八十八番地

本部

前は池の妙音寺◎今は松葉館跡

巡回所は各家に就て施行
（參殿見積を前陳仕）

外來部は本所に於て施行
（消毒手數料を即答申）

私立東京瓦斯消毒手數料

細雜

三十一年二月來施行

本所の消毒は少しも物質に變化を與へす完全に消毒を終るを以て消毒後洗濯等の必要なし故に其手數の小なきと其比を見す就中貴重なる裝飾にして功益莫大なり

家屋は室內廣狹、室數多少、故に一定し難し日本館、西洋館、共に實測の上見積を捧くと雖も八疊十疊ノ疊數に對し左ノ割合にし行ふ

但し賴意により勉めて便益法を撰ぶ

西洋館ゟ　壹圓以上五圓　日本館ゟ　貳圓以上　參圓

而して左の消毒を行ふを得べきものを此消毒料に準據す

宮殿、樓閣、寶藏、倉庫、蒸滊車、蒸滊船、米穀藏、酒藏、質藏、

大旅館、大劇場、大會席、大寄席、倶樂部、養雞場、製造場、諸工場、

	十錢厘
毛布(全布)	〇、六〇
襯衣	〇、一〇
敷布	〇、二〇
枕(括り枕)(普通も)	〇、一〇
枕覆	〇、一〇
帶(男)角	〇、一〇
毛布(半布)	〇三〇
綿入	〇、四〇
綿入羽織	〇、三〇
半纏(綿入)	〇、三〇
胴着(綿入)	〇、三〇
袷羽織	〇、二〇
袷半纏	〇、二〇
單羽織	〇、一〇

	十錢厘
單半纏	〇、一〇
帶(女)	〇、一〇
ヘコ帶	〇、一〇
袖ナシ	〇、二〇
帽子	〇、一〇
頭巾	〇、一〇
襦衣	〇、三〇
單衣	〇、二〇
三布蒲團	〇五〇
四布蒲團	〇、六〇
五布蒲團	〇、七〇
二重マント	〇、八〇
犢鼻褌	〇、一〇
敷布團	〇、二〇

	十錢厘
小夜着	〇、七五
蚊帳	〇、六〇
ツボン下	〇、二〇
小蒲團	〇、二〇
坐蒲團	〇、一〇
襟卷	〇、一〇
腹掛	〇、一〇
股引	〇、一〇
腰卷	〇、一〇
足袋	〇、一〇
洋手拭	〇、一〇
三布風呂敷	〇、一六
四布	〇、一八
五布	〇、二〇

	十錢厘
敷物(大中小)	〇、四〇
外套(官服)等	〇、四〇
袷洋服	〇、八〇
單洋服	〇、八〇
抱卷	〇、六〇
蒲團(不定ノ仕立)	〇、二五
二布蒲團	〇、四五
ドテラ	〇、五〇
チンチコ	〇、四〇
チンチコ半纏	〇、四〇
夜具	〇、八〇
肩掛	〇、三〇

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會規則摘要

一凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ随て社會全般の幸福を增進するにあり

一會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し

但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

一本會々員を分て修身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす

但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中女生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

一男子にして本會の主義を賛成する者は之を賛成員とす尤も會費は本會員に同し

一本會の集會は七月八月を除くの外毎月一回として通常第一土曜日午後一時より之を開く

一毎會學識經驗ある者を聘し講義演説を囑し本會々員の演説と共に之を筆記して本會雜誌に掲載し毎月各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす

一會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむることを得

一講義演説の際男子の傍聽を禁すと雖も會員に縁故ある男子は此限にあらず

一會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

一會費は郵便小爲替にて東京神田佐久間町郵便取扱所へ向け振出しある可し

但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割增とす

一入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふべし

一毎年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

一至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すことを得

一各地方にて發起者十八以上ある者は支會を設くることを得

　但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起草し本會役員の認可を經へし

一本會の集會場は時々報知する者とす

一會費金は受領證を付與すべし尤も小爲替又は郵便劵にて納むる者は右受領證遞送費として郵劵二錢を添ふべし然らされは受領證は送付せざるものとす

私立 大日本婦人衛生會

東京下谷區練塀町四十三番地

齒科診察

午前八時より
午後五時まで

齒科醫 高橋コウ

東京日本橋本町二丁目十二番地

本誌廣告料

廿二字詰一行一回	金十錢	總て前金の事
半頁 仝	金一圓五十錢	
一頁 仝	金三圓	

尙會員の廣告若くはページ數回數等の多寡に應じ相當に割引を定むべし次月の本誌に廣告掲載を望まるゝ場合には豫めて次月十日迄に御申込あるべし

明治三十一年八月十八日印刷
明治三十一年八月二十日發行

發行所 東京下谷區練塀町四十三番地 大日本私立婦人衛生會

編輯兼發行者 東京牛込區矢來町三番地 田中德三郎

印刷者 同 神田區小柳町十三番地 小高良造

印刷所 同 神田旅籠町貳丁目拾一番地 廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可毎月二十日發行

（定價金拾錢）